

# ダラスのワーキング女子へエールを！

## 「DJCWのマンズリーメッセージ」

### 社風とは

CCOって聞いたことがありますか？  
またの名をチーフカルチャーオフィサー。  
巷では最近「会社の文化や社風を重んじよう」といった風潮が流行っているようです。このトレンドにあやかり、会社によって人事部内にカルチャー部といった部署を新設するところもあるとか。なんで人事部？と思うかもしれませんが、会社のカルチャーは社員の間関係やポリシーなどと深く関係しているため、そこが一番じっくりと落ち着くから…という発想のようです。

会社によって社風が違うのは当然ですが、同じ業界でも会社ごとでまるっきり違うのが面白いですよ。私自身も過去に何社か転職した経験があるのですが、新しい会社に就職するたびに当たり前ですが「今までとちよつと違うな」と思うことがよくありました。その他にも、友人やお客さんのお話を聞いて「え、あなたの会社はそんな文化なの？」とびっくりさせられることも。ここで大事なのは、どれが良い悪いというわけではなく、どれが自分に合うか、仕事がしやすいかだと思います。また、自分が今いるライフステージによつても、その時の自分にぴつたりあうカルチャーが違つてくると思います。

まずは、古風だなあと思つた例。これは、ダウンタウンにある不動産関連の会社に勤めている私の友人（20代アメリカ人女性）の職場です。彼女の会社では、内勤の日はこちらのこと、外回りでお客さんのところに一日出づつぱりだったとしても、必ずダウンタウンの事務所に顔を出さないといけないという風潮があるそうです。たとえ一日中ブレノ周辺を回つていて、自宅がリチャードソンにあつたとしても、必ず方には事務所に戻らないといけないとのこと。渋滞にはまると顔を出し、そのあとまたダウンタウンで帰宅なんて…。「この時代はまだそ

んなことを強いる会社があるの？」と思つてしまいました。もっとも、不動産業界が全てこんなにガチガチなわけではなく、これと真逆の不動産会社に勤めている友人もいます。彼女はサウスレイク在住で、事務所はアップタウンにあるのですが、渋滞を避けるために朝は早めに出勤。そして夕方渋滞がひどくなる前の15時には退社するそうです。ガチガチに社ルールを決めてしまつたのではなく、フレキシブルに働ける環境を整えてあげた方が、渋滞の1時間を仕事の1時間へと回せるので、会社にとつても社員にとつても効率的だからという考え方がいいです。同じ業界でも全然違う！

次は、会社の規模はほぼ同じなのに社風がまるで違つた例です。私のお客さんでもあるAさんの会社は大手のヘルスケア関係の会社なのですが、服装がとても厳しいとのこと。最近やつと緩くなつてきたようですが、数年前までは女性社員はつま先がオープンな靴やサンダルなどは禁止だったそうです。最初それを聞いたときは、安全上の理由で？と思いましたが、単純にビジュアルが社風にふさわしくないからとのこと。アメリカでも未だにそんな会社があるのかと驚きました。そうかと思うと、ブレノに本社がある某有名食品関係の会社に勤めるBさんの職場は毎日ジーンズOK。しかもCEOがとても気さくな方らしく、「自分だけオフィスにこもるのではなく、皆と同じようにデスクに座つて仕事をしたい」という考えだだそうです。

私自身も転職を通してさまざまな会社のカルチャーを経験してきました。以前の職場は、会社自体の規模は大きいのですが、私の所属するダラス事務所は30人位のこじんまりとしたところでした。社員は皆フルタイムで覚えていたし、ランチもよく一緒に行く仲でした。上司と部下というよりも、皆で一緒に仕事を作り上げていく（というかそもそも人数が少ないため、一緒にやらないと終わらない）スタイル。私にとつては第2の家族のような場所でした。居心地はとてもよかつたのですが、ここに一生いてもステップアップできないのではという葛藤もあり、数年前に今の会社へと転職しました。今の職場はうつつと変わつて、約270人の社員が在籍している大きな事

務所です。今の自分のグループだけでも、以前の事務所全体より人数が多い！最初は戸惑いました。初めはなんとなく、以前の職場のようなアットホームな雰囲気を探していました。でも、しよせん違う会社。今の職場は、家族は家族でも、ほんわか家族というよりは、がんばらん行くぞ家族という感じですよ。

私の仕事はオフィスデザインなのですが、以前コールセンターのデザインの仕事に携わつていたときもありました。コールセンターは基本的に24時間サポートの世界。その中で朝昼晩の3シフトに分かれていきます。電話に出ている限りお金になるので、皆トイレやランチさえも分分钟みで対応します。最初その勤務体制を見たときは一体どれだけこの会社はお金最上主義なんだと思いましたが、会社側は社員に少しでも快適に過ごしてほしいという思いから、さまざまナリラックス施設を用意していました。仕事の合間にホツと息つける静かな休憩室はもちろんのこと、PCゲームができるような部屋まで！とにかく働け型なコールセンターが多い中、こんなに色々社員のことを考えてくれている会社もあるんだ、という意味で驚きました。

社員一人一人の姿勢や服装なども、社風を作る要素の一つだと思います。アメリカではビジネスカジュアルが主流ですが、その中でも色々個性が出ますよね。私はなんとなくいつも自分の女性上司と似たような服装になつている気がします。上に行くには自分のなりたい人の真似をしつて無意識的に思つているのかも？また、どんな姿勢で自分の仕事スタイルを見つけていくのかも重要だと思います。フレックスや在宅などさまざまな選択肢がある昨今、何が重要でその時の自分に合うか、ですね。

### プロフィール

**DJCW**(Dallas Japanese Career Women)

ダラス在住の働く日本人女性2人が2018年に立ち上げた会。「ダラスにて頑張っている日本人のキャリア女性を応援し、ネットワークの場を作ろう」という趣旨で、毎月イベントなどを通してネットワークの場を作っている。

メールアドレス: [djcwomen@gmail.com](mailto:djcwomen@gmail.com)  
ウェブサイト: [www.djcw.org](http://www.djcw.org)